

草津白根山の火山活動解説資料(平成 21 年 4 月)

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

湯釜火口内の北壁や水釜火口の北から北東側にあたる斜面でわずかな熱活動の高まりがみられています。今後これらの活動がさらに高まった場合には、山頂火口から概ね500mの範囲に影響を及ぼすごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があることから、10 日14 時00 分に噴火予報を切り替えました(噴火警戒レベル1(平常)継続)。

山頂から概ね500mの範囲ではごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られます。周辺の窪地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留する事がありますので、注意が必要です。

活動概況

・噴気など表面現象の状況(図2、図4)

東京工業大学の観測によると、湯釜火口内北東部の噴気孔周辺の地中温度は引き続き高温の状態が継続しました。

逢ノ峰(湯釜の南約1km)に設置してある国土交通省利根川水系砂防事務所のカメラでは、湯釜火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

湯釜火口内に設置してある東京工業大学のカメラでは、噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況(図5、図6)

山体を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況(図6)

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

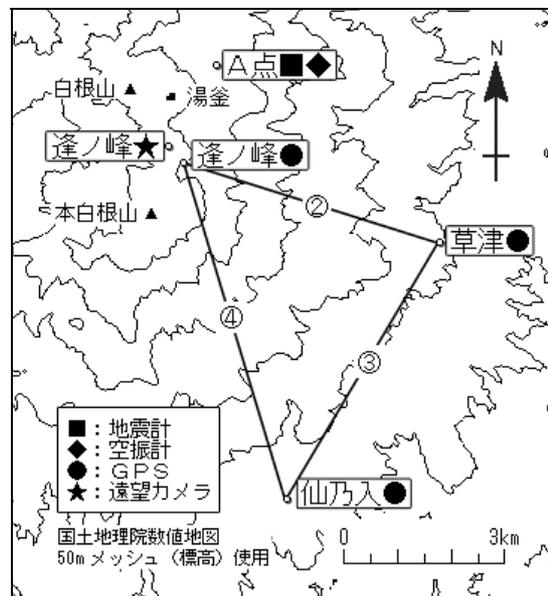


図1 草津白根山 気象庁の観測点配置図
(小さな白丸は観測点位置を示しています)
GPS 基線 ~ は図6の ~ に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成21年5月分)は平成21年6月9日に発表する予定です。この資料は気象庁のほか、東京工業大学、国土交通省利根川水系砂防事務所のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』『数値地図25000(地図画像)』を使用しています(承認番号:平20業使、第385号)。

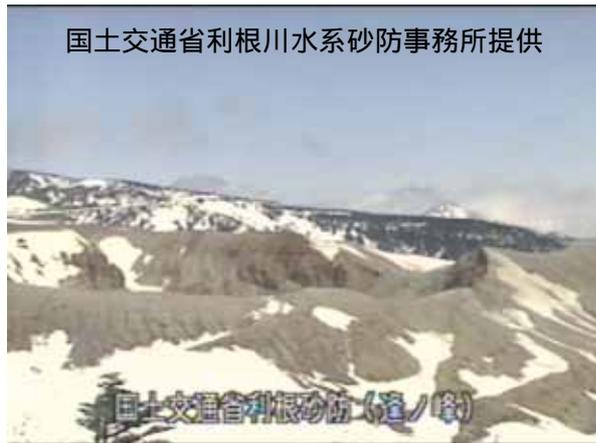


図2 草津白根山 湯釜付近の状況(4月22日)

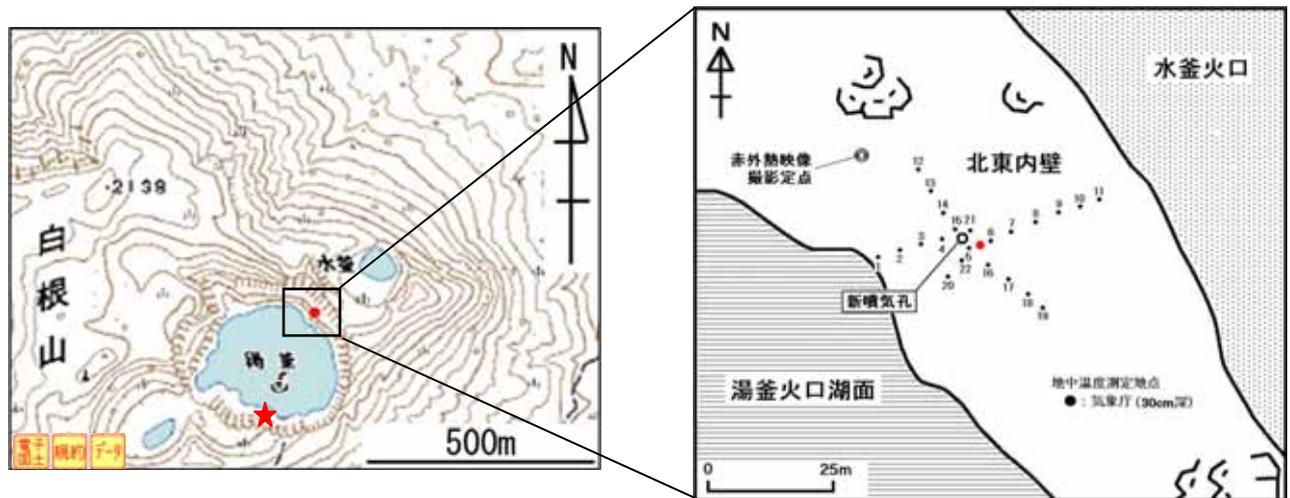


図3 : 図4の地中温度測定場所 : 図2(左図)の火口カメラの位置

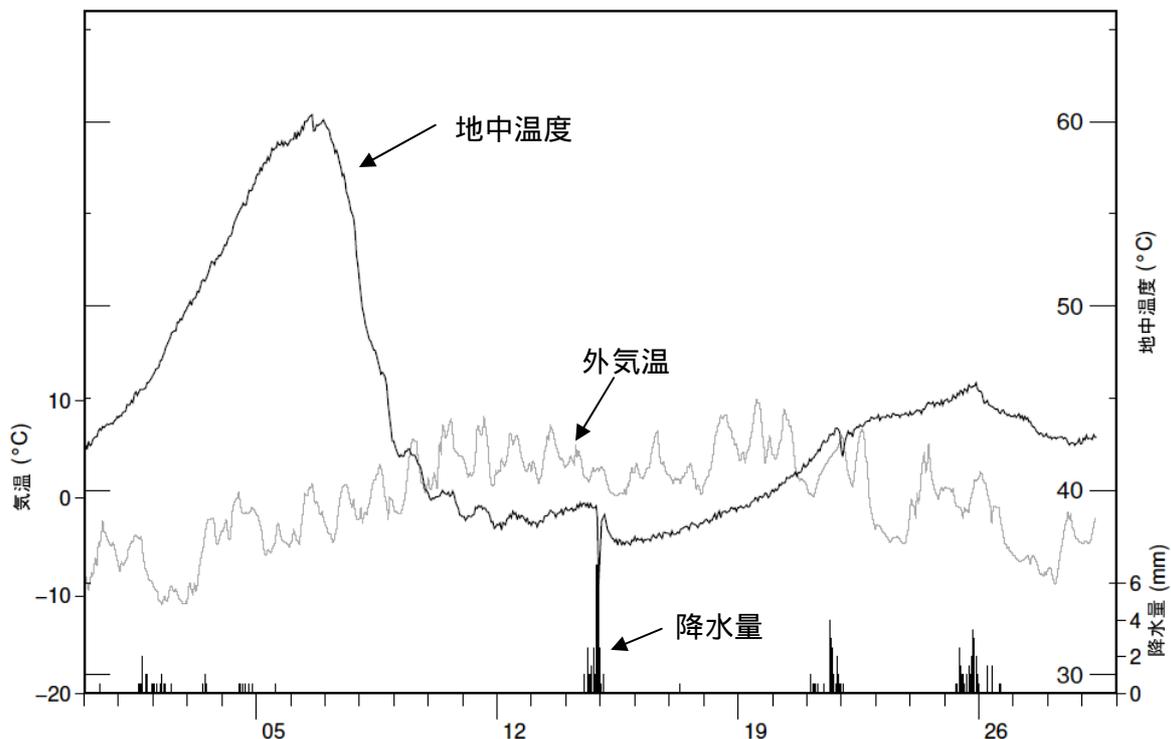
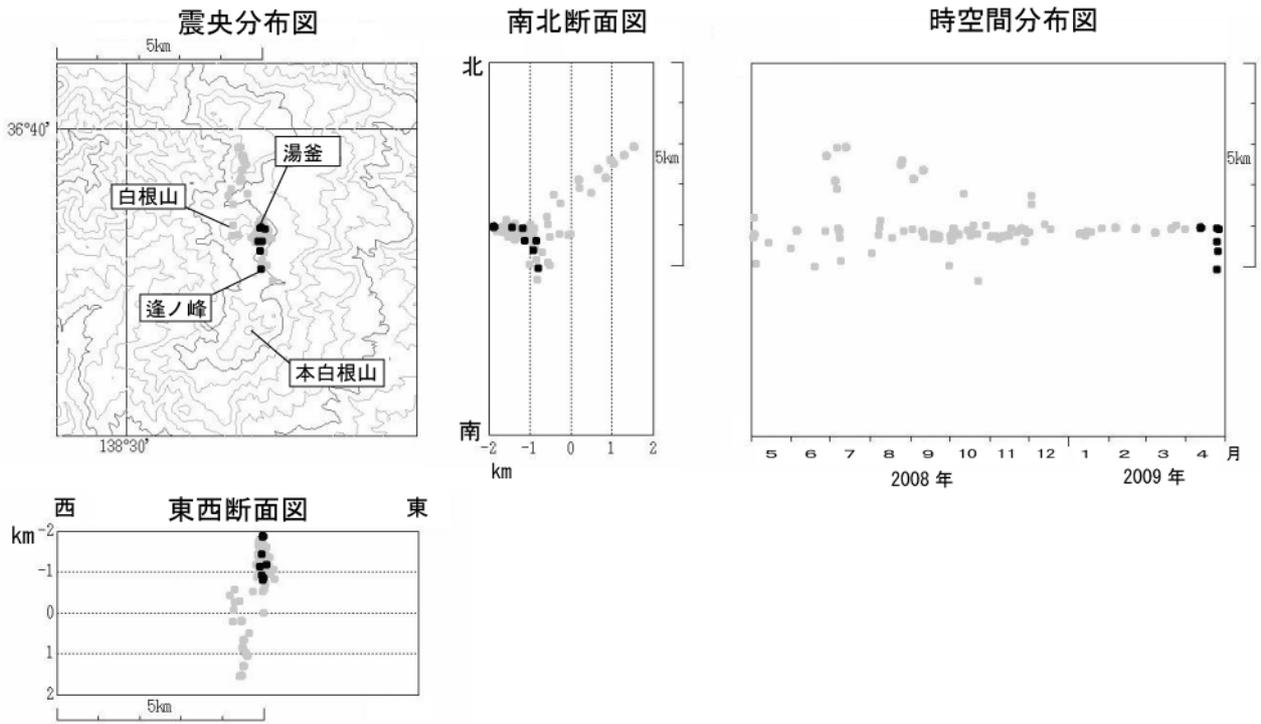


図4 草津白根山 湯釜火口内北東部の噴気地帯 地中温度と外気温と降水量 (2009年3月31日~2009年4月29日、東京工業大学による)



: 2008 年 5 月 1 日 ~ 2009 年 3 月 31 日 : 2009 年 4 月 1 日 ~ 4 月 30 日
 図 5 草津白根山 震源分布図 (2008 年 5 月 1 日 ~ 2009 年 4 月 30 日)

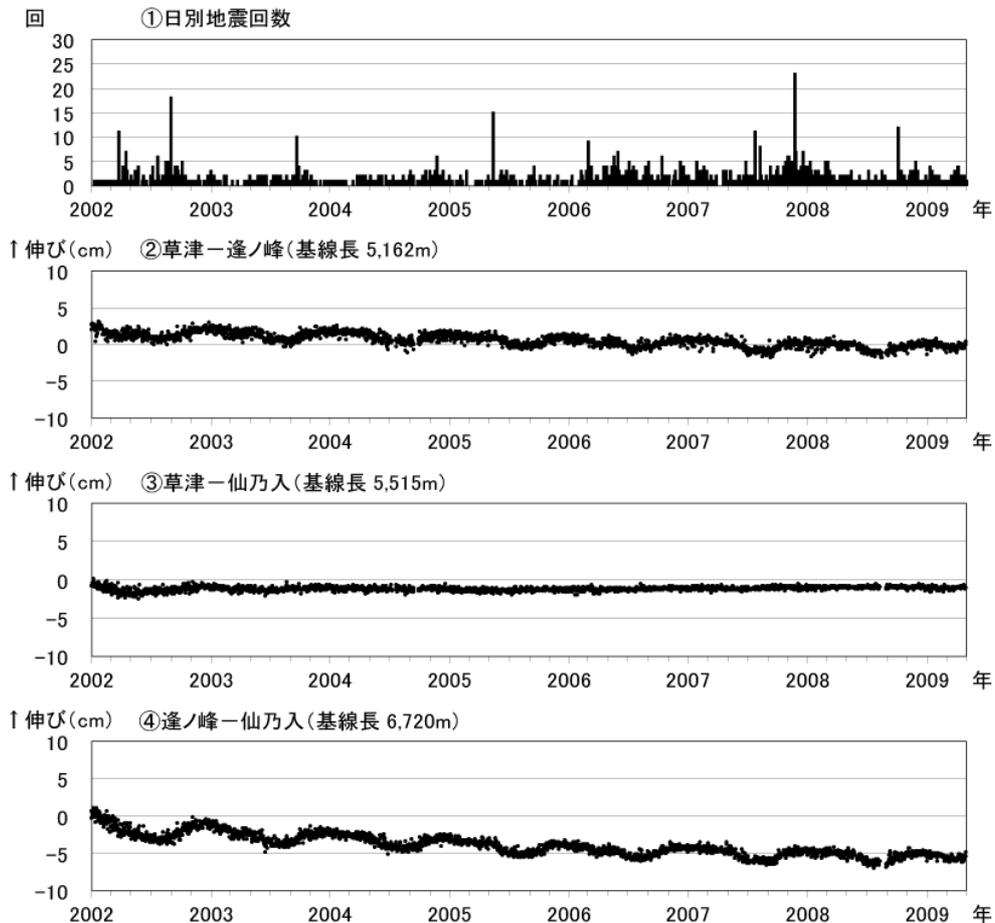


図 6 草津白根山 最近の火山活動の推移 (2002 年 1 月 ~ 2009 年 4 月)
 山体付近に発生した地震の日別回数
 ~ GPS 連続観測による基線長変化
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
 ~ は図 1 の ~ に対応しています。